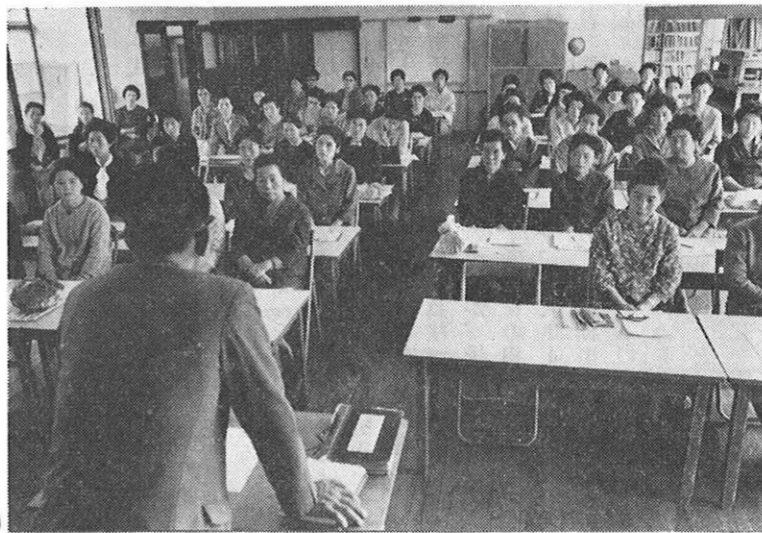


います。年に三分という低い利子に据置期間が最高一年間もあるわけですから、その自立更生に大変役立っています。

ここでとくにつけ加えたいのは、この世帯更生資金は、これを借り受けるときから資金の効果的な活用に至るまで、民生委員が直接の担当者として指導に当たることとされていることです。ですからこの資金を借りようとする方は地元の民生委員さんに資金計画を十分お話しして、その指導をう

保母さんの講習も定期的にはひらかれている



(定期的にはひらかれている保母さんたちの講習)

けていただきたいということです。

## 住宅援護

戦後、外地から多数の方々が入りこまれ、また戦争で家を焼かれて生活に困っている方々が当時県下には相当いらっしやうたわけで、この方々のためにまず住む家を……というわけで、県ではさっそく、かつて戦争中に使われて空家となった旧兵舎や軍需工場の寮を応急的に修理してそれらの方々の住宅難を切り抜け、また昭和二十四年ごろから熊本市内の大江町渡鹿や花園町に土地を買ってあげ、引揚者援護のため、公営住宅の戸数の枠をもらって、数百戸の家を建てたのですが、現在ではその住宅も土地を除いてほとんど払下げが終り入居者の方々はほとんどは自分の家に安心して暮らしておられます。

また、旧兵舎や大きな寮の古い建物に住んでおられた方々には、それらの建物が極めて危険な状態となってもはや修理もきかなくなつたため、「住宅地区改良法」という法律に基づいて、これを年度計画によって鉄筋コンクリートに建てなおし、いまでは見ちがえるような団地ムードの中でたのしい生活が営まれています。これらに使われた県の建築費用は二億円を超えており、引揚者に対する住宅援護対策はほとんどここに、目的を達したと考えられます。

## 婦人問題

さて、民主主義の世の中となつて、基本的人権の尊重ということが次第に叫ばれて、中でも世間

## むすび

このほか、「社会福祉」を多くの面からすすめてゆくうえに「災害救助」という特別な援護施策もあるわけですが、いづれにしても社会の不安をすこしでも解消してゆくためには、まだまだ多くの問題を抱えて今後の仕事をすすめてゆかねばなりません。

県民全体の幸福は、ひるがえって私たちの周囲の一人一人がその家庭の中で平和な生活を築き、その小さなしあわせが県下のすみずみにひろがり、ゆきわたったときに、はじめて訪れるものでしょう。

### 施設紹介

## 熊本県婦人寮

熊本県婦人寮は、要保護女子を収容して生活の指導や就職の指導を行ない、その方々の転落防止と保護更生をはかるために、売春防止法に基づき、熊本市南町に設けられた施設です。

ここに入室されている方々はすべて婦人相談所のすすめと本人の同意によって入室が決まった方々ばかりで、そこではいま熱心なやさしい先生の指導をうけながら、寮内の十分な機械や設備によって編物や洋裁の技術を覚えて一日でも早く独り立ちができるよう努力しています。入室されている人々が将来退寮されてしあわせな独り立ちができるためには、たんに編物とか洋裁などの職業的な生活技術を修得するだけではなく、教養や文化などの精神的な面にも努力することが大切です。

そのために寮では、入室者の自主的な意見を取り入れながら、生花や茶道あるいはコーラスや園芸などにも力を注いでおり、また時には生活の変化を与える意味で社会見学やレクレーションを行なつて、うるおいのある寮生活が営めるよう寮長さんたちはとくに配慮されています。



そのためには、県民の経済力をたかめてゆく県計画と相まって、福祉対策が同じようなテーマボですすめられなければなりません。これからも県は市町村や県民の皆さんのご協力を得ながら、そのテーマボにおくれないうよう努力をかさねてゆく考えです。

(社会課)

## みんなで明るいお正月を

★歳末たすけあい運動に協力しましょう

## 熊本県婦人相談所

この施設は、「性行又は環境に照して転落のおそれのある女子(このような人を「要保護女子」と云つております)を保護し、更生させるための仕事をこなしている施設で、去る昭和三十三年三月に売春防止法によって設置された。

この仕事をすすめてゆくうえに必要な各種の機関や団体と連絡をとりながら、職業や更生のための資金あるいは医療機関等のあつせんも行なっております。

そこには、所長ほか数人の指導職員をはじめ三人の県婦人相談員がいて常に要保護女子の発見に努めており、多くの悩みを抱えて相談所を訪れる方々の就職や家庭経済の問題、また結婚や離婚問題と家族関係に至るまで、いろいろと相談に応じている。又それらの方々に必要な生活上の指導や調査を行なっているが、そ

また場合によっては心理学的、職能的な判定も行なつてその人に適した保護や援護の措置をとっている。このほか、婦人相談所の中には、「一時収容所」が設けられており、そこには相談にみえた方々に対する措置が決まるまで一時的に収容保護されることもある。

なお、熊本県婦人相談所は熊本市内坪井町にある。

ただ、こうした不幸な婦女子の中には、極度に智能の働きが悪いという方もあるわけで、一般に云われている「精神薄弱者対策」として、今後は県では新しい仕事をすすめてゆく必要が生まれてきています。



熊本県婦人相談所